

# 衛星測位補強サービスCLAS、SLASを用いた視覚障がい者及び車いす利用者向け介助サービス事業

株式会社Ashirase、バリアフリープロジェクトコンソーシアム

株式会社minsora/株式会社ラムダシステム/おおいたサテライトオフィス株式会社/(一財)宇宙システム開発利用推進機構

【目的】ICTとみちびき測位システムのインフラ連携による障がい者の「自立」的移動と、最低限かつ効果的な人のサポートによる「安心」を提供することで、彼らが自立できる社会の実現をしたい

【実証内容】衛星測位補強サービスSLAS、CLASを用いた視覚障がい者介助サービス「あしらせ」及び車いす利用者介助サービス「B-SOS」を実装し、実際の被験者による一連ユースケースを実施し有効性、課題を確認した

【結果・考察】衛星測位補強サービスが障がい者のサポートに有効であることは検証できた。被験者の体験した感想を聞きアプリ操作性などのシステム面、SOS時の状況伝達方法などサービス運用面における改善課題も収集することができた

【今後の展開】あしらせとB-SOSの連携や他サービス連携活用によって利便性の高いシステムを作り上げ、運用体制や利用するための仕組みづくりを行う

## 【視覚障がい者介助サービス「あしらせ」実証】

視覚障がい者が、SLASによる高精度測位情報を活用したあしらせアプリで目的地の店舗を指定することにより、

- ・靴に付けたデバイスが振動することで、進路を教え、目的地へ正確に誘導する
- ・視覚障がい者が店舗に近づくと、アプリでその位置を確認した事業者が店先で出迎え、入店までの導線をサポートする

の2項目を実証することができた。

SLASにより正確に歩道付近を測位



SLAS + あしらせで正確に目的地へ



あしらせデバイス

事業者は視覚障がい者の正確な位置情報を随時確認でき、ロスなくお出迎え出来た

出迎え通知確認



## 【車いす利用者介助サービス「B-SOS」実証】

車いす利用者が、CLASによる高精度位置情報を活用したSOS通知を介助者に向けて発信し、介助者はSOS発信地点をアプリで確認して、正確に現場にたどり着き支援できることを検証した。



車いすに取り付けたCLAS受信機用アンテナ

